

東京理科大学総合研究院バイオオルガノメタリクス研究部門
研究交流会プログラム (案)

1. 開催日時：2016年3月17日 (木) 12時～
2. 開催場所：東京理科大学神楽坂キャンパス2号館2階 212教室
3. プログラム

基調講演

12:00～12:15 鍛冶 利幸 (東京理科大学)

特別講演

座長：鍛冶 利幸 (東京理科大学)

12:15～12:50

化学形態分析を基盤としたカルコゲン元素の代謝機構の解明

小椋 康光 (千葉大学)

特別講演

12:50～13:25

亜鉛トランスポーターの機能と亜鉛バイオロジー

神戸 大朋 (京都大学)

特別講演

13:25～14:00

メタロチオネイン遺伝子の重金属依存的な発現を担う転写因子 MTF-1

大塚 文徳 (帝京大学)

14:00～14:10 休憩

14:10～15:40

一般講演

座長：山本 千夏 (東邦大学), 篠田 陽 (東京理科大学)

ピロール含有ロタキサンの合成とその動的挙動

齋藤 慎一 (東京理科大学)

アミノ酸の空間的配置からみたタンパク質結合領域規則性の探索

宮崎 智 (東京理科大学)

マクロファージによるアミロイドβタンパク質の認識除去機構

藤原 泰之 (東京薬科大学)

銅キレート化合物の XIAP に対する阻害能の検討

高澤 涼子 (東京理科大学)

有機金属化合物 TDPBi、TDPSb を静脈内投与後の体内動態

廣田 孝司 (東京理科大学)

メタロチオネインアイソフォーム特異的な誘導機構とその役割

木村 朋紀 (摂南大学)

銅錯体の血管内皮細胞メタロチオネイン誘導を介在する

亜鉛輸送体 ZIP7 発現の誘導

藤江 智也 (東京理科大学)

15 : 40 ~ 15 : 50 休憩

15 : 50 ~ 17 : 30

一般講演

座長 : 浜田 典昭 (東京理科大学), 中 寛史 (名古屋大学)

テトラアニオン配位子をもつチオニトロシルルテニウム錯体の合成

武藤 雄一郎 (東京理科大学)

金属配位型 Covalent Drug の創出を目指して

内呂 拓実 (東京理科大学)

刺激応答性有機金属化学を目指す分子触媒開発

今堀 龍志 (東京理科大学)

トリアリールスチバンやビスムタンを利用した鈴木型・葛頭型反応

安池 修之 (愛知学院大学)

ハイブリッド分子メチル水銀による分泌性タンパク質群の転写誘導機構

高橋 勉 (東京薬科大学)

創薬を目指した大規模第一原理電子状態計算

大塚 教雄 (理化学研究所)

1,10-phenanthroline-金属間結合力により調節される

内皮細胞のプロテオグリカン合成

原 崇人 (東京理科大学)

17 : 30 ~ 17 : 40

閉会の挨拶 鍛冶 利幸 (東京理科大)

18 : 00 ~ 20 : 00

懇親会 (8号館地下多目的室)

バイオオルガノメタリクス研究部門研究交流会

部門長 鍛冶 利幸

◎ 演題リスト

斎藤 慎一（東京理科大学）

ピロール含有ロタキサンの合成とその動的挙動

武藤 雄一郎（東京理科大学）

テトラアニオン配位子をもつチオニトロシルルテニウム錯体の合成

宮崎 智（東京理科大学）

アミノ酸の空間的配置からみたタンパク質結合領域規則性の探索

内呂 拓実（東京理科大学）

金属配位型 Covalent Drug の創出を目指して

高澤 涼子（東京理科大学）

銅キレート化合物の XIAP に対する阻害能の検討

今堀 龍志（東京理科大学）

刺激応答性有機金属化学を目指す分子触媒開発

廣田 孝司（東京理科大学）

有機金属化合物 TDPBi、TDPSb を静脈内投与後の体内動態

安池 修之（愛知学院大学）

トリアリールスチパンやビスムタンを利用した鈴木型・葛頭型反応

藤原 泰之（東京薬科大学）

マクロファージによるアミロイドβタンパク質の認識除去機構

高橋 勉（東京薬科大学）

ハイブリッド分子メチル水銀による分泌性タンパク質群の転写誘導機構

木村 朋紀（摂南大学）

メタロチオネインアイソフォーム特異的な誘導機構とその役割

大塚 教雄（理化学研究所）

創薬を目指した大規模第一原理電子状態計算

原 崇人（東京理科大学）

1,10-phenanthroline-金属間結合力により調節される内皮細胞のプロテオグリカン合成

藤江 智也（東京理科大学）

銅錯体の血管内皮細胞メタロチオネイン誘導を介在する亜鉛輸送体 ZIP7 発現の誘導

浜田 典昭（東京理科大学）

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX